

資料館展示案内

展示室Ⅰ 考古資料展示室

縄文土器をはじめ、市内の遺跡から出土した考古資料を展示



展示室Ⅱ 歴史民俗資料展示室

伊達家一門筆頭 角田館主 石川氏関係資料を展示(企画展の際は、随時展示内容を変更)



角田市郷土資料館(旧氏丈邸) 利用案内

- 開館時間／9:00～16:30
- 休館日／月曜日、国民の祝日(月曜の場合はその翌日)、年末年始
- 入場料／無料 ※但し、企画展期間中のみ有料。
一般300円・高校生250円・中学生以下無料
団体(20名以上)250円
- 駐車場／無料 大型バス駐車可
- 交通案内／阿武隈急行線「角田駅」よりタクシーで5分
- 問い合わせ／角田市郷土資料館
〒981-1505 角田市角田字町17
TEL・FAX.0224-62-2527

明治・大正に栄えた大地主の邸宅

きゅう うじ じょう てい

旧氏丈邸

角田市郷土資料館



旧氏丈邸の建物

この資料館は、明治初年から大正年間にかけて、郷土の旧大地主初代と2代目氏家丈吉氏が建築した邸宅を、昭和60年6月角田市が譲り受け、郷土資料館として整備したものである。平成3年に市の文化財に指定された。

This museum was originally built in the late 19th Century to the early 20th Century by Jokichi Ujiie the I and II, one of the former wealthiest landowner families known in Kakuda. Since then the family had resided in the house until 1985 when the house was gifted to Kakuda City and was restored to the present Kakuda City Historical



邸内には日常の喧騒を忘れさせる静謐な時間がゆっくりと流れる



店蔵

通りに面した土蔵造りなまこかべ海鼠壁の重厚な2階建ての蔵で、明治初年の建築。1階天井の漆塗りのおおはり樫の大梁は目を見張るものがある。



座敷

上段の間は、杉四方柱の床柱、新座敷は、良質の杉材を多用し、つたかずら蔦蔓透彫りの欄間に付け書院の障子と、当時の職人の腕の確かさを伝えている。



浴室

大理石のお風呂場。窓には青い鳥が印象的なステンドグラスがあり、大正期のモダンな雰囲気が漂う。

表門

角田城の門と伝えられているもので、明治15年に移築された。薬医門の形式をとっており、高さ4.7m、横幅4.7m、奥行2.3m。主要部材はすべて櫨を用いている。



米蔵(展示室I・II)

大きな屋敷の東南には、白壁と棧瓦の美しい土蔵造りの文庫蔵、前蔵、米蔵が並ぶ。さらにこの地方にはめずらしく土蔵造りの明神様がある。



庭

四季折々に表情を変える美しい庭には、文庫蔵や角田城から移築したものと伝わる石燈籠が置かれている。



建物配置図

